

第6回市島地域市立小学校統合準備委員会次第

日時：R4.6.24（金）19:30～

場所：ライフピアいちじま研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 委員自己紹介

4 地域部会からの報告及び協議事項

（1）竹田・前山地域部会

【承認事項】

①竹田小学校と前山小学校の統合の場所及び時期について（資料P2～P4）

（2）吉見・鴨庄・三輪地域部会

【承認事項】

①鴨庄地域におけるスクールバスの運行について（資料P5～P6 / P7～P9）

②統合後のアフタースクールの在り方について（資料P5～P6 / P10～P11）

【報告事項】

③三輪小学校の統合の時期について（資料P12～P13）

5 「5校→1校」統合について【協議事項】

6 自由討議

7 その他

8 次回委員会の日程について

・日 時 月 日（ ）19時30分～

・場 所

9 閉 会

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school writing paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

令和4年度丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会 委員名簿

(委 員)

選出区分	所 属 等	氏 名	備 考
識見を有する者	兵庫教育大学大学院	川上 泰彦	
自治会代表	竹田地区自治振興会	青木 修	
自治会代表	前山地区自治振興会	余田 義信	
自治会代表	吉見地区自治振興会	坂谷 高義	
自治会代表	鴨庄地区自治振興会	木寺 章	
自治会代表	美和地区自治振興会	淵上 利美	
小学校保護者代表	竹田小学校PTA	笹倉 博	
小学校保護者代表	竹田小学校PTA	山邊 敦	
小学校保護者代表	前山小学校PTA	荻野 幸広	
小学校保護者代表	前山小学校PTA	藤田 泰生	
小学校保護者代表	吉見小学校PTA	由良 英樹	
小学校保護者代表	吉見小学校PTA	加藤 宏生	
小学校保護者代表	鴨庄小学校PTA	長井 勇人	
小学校保護者代表	鴨庄小学校PTA	高見 忠寿	
小学校保護者代表	三輪小学校PTA	松本 和樹	
小学校保護者代表	三輪小学校PTA	波多野 真由奈	
認定こども園保護者代表	認定こども園 いちじまこども園	宇佐美 大介	
認定こども園保護者代表	認定こども園 いちじまこども園	坂谷 幸久	
認定こども園保護者代表	認定こども園 いちじまこども園	若林 久美子	
認定こども園保護者代表	認定こども園 あいいくの丘	溝部 康祐	
認定こども園保護者代表	認定こども園 あいいくの丘	余田 亜美	
教職員代表	竹田小学校	足立 和宏	
教職員代表	前山小学校	吉見 典彦	
教職員代表	吉見小学校	足立 圭造	
教職員代表	鴨庄小学校	内田 順子	
教職員代表	三輪小学校	中澤 正樹	
教職員代表	市島中学校	山口 滋唯	
認定こども園関係者	認定こども園 いちじまこども園 職員	田野 悟	
認定こども園関係者	認定こども園 あいいくの丘 職員	余田 淳子	

(事務局)

所 属 ・ 職	氏 名	備 考
教育長	片山 則昭	
教育部長	藤原 泰志	
教育部次長兼学校教育課長	池内 晃二	
教育部次長兼教育総務課長	足立 勲	
教育部学校教育課副課長	谷川 知美	
教育部学校教育課指導主事	足立 浩基	
健康福祉部子育て支援課長	荒木 和美	
健康福祉部子育て支援課子育て支援係長	芦田 将司	
教育部教育総務課学校統合準備係長	船越 正一	
教育部教育総務課指導主事	小田 敏治	
教育部教育総務課主事	畑中 直之	

会議記録

令和4年6月2日

- 会議名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
第5回竹田・前山地域部会
- 日時 令和4年5月30日（月）19:30～21:00
- 場所 ライフピアいちじま
- 出席者 委員（R4）：青木修、余田義信、笹倉博、山邊敦、荻野幸広、藤田泰生、
溝部康祐、余田亜美、足立和宏、吉見典彦、余田淳子
委員（R3）：吉見祐也、井上直人、荻野有希、足立三友紀、四方まどか
事務局：池内次長、足立次長、船越係長、小田、畑中

●内 容

1 統合の時期及び場所について

《校舎見学で寄せられた感想》

○竹田小学校について

- ・前山小より教室が広い。
- ・築年数の割に古くない。
- ・体育館がきれいである。
- ・他の学年と一緒に階に教室があるので交流できて良い。
- ・教室の人数が増えるが、前山小と変わらないように感じる。
- ・洋式のトイレを増やしてほしい。
- ・手洗い場が各教室の前にあれば良いと感じた。
- ・竹田小は前山小より古く感じる。
- ・グラウンドが道路に面しているため、ボールが道に出るとき危険である。
- ・統合を機会に校舎の改修をしてほしい。

○前山小学校について

- ・受付（昇降口）が広い。
- ・グラウンドが竹田小学校より小さい。
- ・エレベーターがあることに驚いた。
- ・教室がフラットで、外部の人が簡単に入れるのは防犯面で心配。
- ・前山小は自然に囲まれているのがいい。竹田小に統合となるとこのように自然と触れ合う機会はあるのか。

○その他

- ・前山小から竹田小への通学がバスになる場合、体力低下が心配である。
- ・1クラスの人数が増えることで先生の目が行き届くか心配である。
- ・アフタースクールはどうなるのか。
- ・家庭数で統合の場所を決定したらいいのではないか。

《統合の場所について》

- ・見学会の感想等を聞くと、竹田小に統合するというイメージの人が多いのではないか。
- ・前山小のほうが自然が多いという意見もあったが、都会と比べたり広い視点で見ると大

きな違いはないように思う。

- ・前山小で4人のクラスになる年代があることを懸念している。早く統合を決めるべきではないか。
- ・決め手になるようなものがないので踏ん切りがつかない。数値的なものを出して、ある程度目安とするのが一番早いと思う。
- ・住民投票のような形で決めるのも可能なのか。今まではどうだったのか。
→市内の過去の例をあげると、住民投票のような決め方はなかった。(事務局)
→住民の方は委員の我々に判断を託しているという側面もあると思う。
- ・前山の4人しかない年代の子どもがいたので、個人的には早く統合をして欲しい。
- ・統合検討委員会のときのように無記名での投票を実施してみてはどうか。

⇒当日の会議の場で投票を行うことについて多数決を実施し、賛成多数で統合の場所について無記名投票を実施することが決定

《統合場所に関する投票結果について》

○竹田小学校：14票 対 前山小学校：2票で統合の場所は竹田小学校で決定した。

※開票立会者：青木修委員、余田義信委員

《統合の時期について》

- ・統合をする場合は設備の改修は統合までにどこまでしてもらえるのか。
- ・アフタースクールの在り方の検討も必要である。
- ・施設整備が行われないと統合は行えないという認識でいいか。
→常識の範囲内で実施はしてほしいと考えている。
→開校までにできることと、開校後に順次整備をしていくことをそれぞれ整理して今後は進めていきたい。(事務局)
→大規模改修は市内で順次実施しているという状況である。なお、トイレについては今年度に洋式化する工事を予定している。(事務局)
- ・小中一貫教育との兼ね合いは今後どうなっていくのか。
→小中一貫教育については、市島地域で1校となることを想定してのものであったが、今回の統合はこども園の枠組みで段階的な統合を実施しているため、その中では小中一貫校はあまり想定されていないと考えている。(事務局)
→5校が1校になる時期によって校舎の改修の内容も変わってくるので気になっている。
- ・統合に関する諸条件はいろいろと出てくるとは思うが、何を一番大切にするかをしっかり考える必要があると思う。また、統合時期を決めたのに、例えば校名が決まっていないので後ろ倒しになったというような事態となれば児童が混乱するため、時期を決定する場合はある程度覚悟を持って決めないといけないと思う。

⇒統合の時期について令和6年度にすることについて挙手による多数決をとり、賛成多数で令和6年度に統合をすることが決定した。

- ・令和6年度までに校名・校歌・校章を決めることはスケジュール的に可能なのか。
→可能である。次回以降に具体的なスケジュールを提案する予定である。(事務局)

《令和3年度委員の会議の参加について》

令和3年度委員で交代後も引き続き協議に参加いただいていた委員について、統合の場所と時期について部会での結論を出すことができたため、今回の地域部会をもって会議への参加を終了することに決定。

2 その他

- ・次回以降日程 ○令和4年6月24日（金）19時30分～
ライフピアいちじま ※全体会と併せて開催予定

○令和4年7月8日（金）19時30分～
ライフピアいちじま

会議記録

令和4年6月10日

- 会 議 名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
第5回 吉見・鴨庄・三輪地域部会
- 日 時 令和4年6月9日（木）19:30～20:30
- 場 所 ライフピアいちじま 研修室
- 出席者 委 員：坂谷高義、木寺章、湊上利美、由良英樹、加藤宏生、長井勇人、
高見忠寿、松本和樹、波多野真由奈、宇佐美大介、坂谷幸久、若
林久美子、足立圭造、内田順子、中澤正樹、田野悟
教育委員会：池内次長、足立次長、船越係長、小田、畑中
子育て支援課：荒木課長、芦田係長

●協議事項

①統合後のスクールバスの運行について

鴨庄地域で個別に協議の場を設けることとしていた統合後のスクールバスの運行について、個別協議結果の報告と賛成を得た鴨庄地域の統合後のスクールバスの運行方法について事務局より説明を行った。

【意見等】

- ・今後スクールバスのバスロータリーの整備なども進んでいくが、それらもこの会議の場で委員に承認いただく必要があるのか。
- 基本的には学校を中心にバスロータリーの仕様等は調整し、随時進捗などをこの場で報告していく予定である。（事務局）

【決定事項】

事務局提案のスクールバス運行案が全員賛成で可決された。

②統合後のアフタースクールの在り方について

担当課から、統合後のアフタースクールの運営方針について説明をし、意見を伺った。

【意見等】

- ・鴨庄小学校の児童が吉見アフタースクールを利用しても、施設のキャパシティ的に問題はないのか。
- 法人立会のもと、現地確認をしたが、内部の小規模な改修などを実施すれば問題はない予定である。（担当課）
- ・本日の資料を事前に鴨庄小の保護者に確認いただいておりますが、今のところは意見は寄せられていない。しかし、以前聞いた中では送迎が祖父母であったりするため、交通の面を心配する声や、鴨庄地域にアフタースクールを残して欲しいという意見もあった。
- ・実際にアフタースクールを見学したが、駐車場のキャパシティは問題ないと思う。
- ・今後人数が増えて、定員を超過することも予想されるが、どう考えられているのか。
- 現在、実際に使っているのは遊戯室と保育室であり、合計で55名を見込んでいる。さらに保育室につながっている部屋が存在しており、それも考慮すると75名の定員とすることも可能となる予定である。それだけの定員があれば、夏季休暇等で利用人数が増えても対応できると考えている。（担当課）
- ・施設改修のスケジュールはどのようなものを想定しているのか。利用児童がいるときに改修となる場合の安全対策はどうか。
- 施設は法人が保有しているものなので、改修は法人と調整して行っていき、補助を出す

という形になるため、今後も継続して協議を行う予定である。その中で安全対策についても検討していく予定である。(担当課)

- ・現在は法人が運営されているが、統合後のアフタースクールについて市はどこまで配慮してくれるのか。また、市の直営と法人運営のアフタースクールとで差が出ないようにしてほしい。
- 運営主体が違うからアフタースクールの内容が異なるというようなことはないように調整は行っている。(担当課)
- ・会議資料について、職員の配置基準や、加配の有無など、根拠があり、わかりやすい資料を作してほしい。
- 指導員の基準としては30名で2人となっている。そこから増えて35名や36名になっていくと、1名増となる。また、児童の障がいの程度などを考慮して、厚く人を配置する必要があるところは配置している。法人に運営いただいているアフタースクールについても、障がい児加算という形で補助金の金額を上乗せしている。(担当課)

【決定事項】

担当課提案の小学校統合後のアフタースクール案が賛成多数で可決された。

③三輪小学校の統合の時期について

事務局から、吉見小・鴨庄小・三輪小校区の人数の推移予測について説明をし、三輪小学校の統合の時期について意見を伺った。

【意見等】

- ・美和地域としては、地域の意見集約を行いたいと考えており、事務局にも説明等のため同席してほしいと考えている。
- ・三輪小学校 PTA では統合の時期やアフタースクールの在り方について一度意見を伺ったが、アフタースクールが一カ所になる場合は、利用開始時間を早めたり、延長料金の開始時間を遅めるなどの配慮をしてほしいという意見があった。また、地区水泳のときのスクールバスやアフタースクールの利用についても質問があった。
- ・三輪地域の個別協議ではどのようなことを協議される予定なのか。
- 現状では大規模な施設整備を伴わない場合は令和12年以降の統合という説明をしているが、地域や学校、保護者の方は実際にどのような意見を持たれているのかを聞きたいと考えている。

●その他

- ・次回日程 未定
ライフピアいちじま 研修室

鴨庄地域におけるスクールバスの運行について

1 現地視察の結果について

【意見】

- ・子どもの時間も大切だが、保護者の朝の時間にも影響があるので、今の出発時間と大きく変わらないようにしてほしい。
- ・端地域の児童は、バス停までの距離や乗車人数を考慮するとアフタースクールのバス停の利用が適当ではないか。
- ・岩戸地域の児童は喜多公民館のバス停まで距離があり、喜多公民館が始発になるルート②は負担が大きい。
- ・実際に乗車してみると、児童が乗車した場合での転回は危険があり、避けるべきであると感じた。
- ・ルート②は1便目に人数が偏るため、新型コロナウイルスの感染対策を考慮するとルート①が適当ではないか。

【方針】

現地視察時のルート①を基本に運行経路を検討する。

2 運行経路について

(1) 登校ルート

		バス停	出発時刻	乗車地域	人数
1 便 目	1	塚原公民館	7:20	塚原	※1
	2	北奥	7:24	末谷・前地・後地・神池	※4
	3	南公民館	7:32	南	7
2 便 目	4	吉見小学校 (7:40 着)	7:42	—	—
	5	喜多公民館	7:50	喜多・岩戸・柊	23
	6	アフタースクール又は JA	7:53	上牧・端	10
	7	吉見小学校 (着)	8:00 頃	—	—

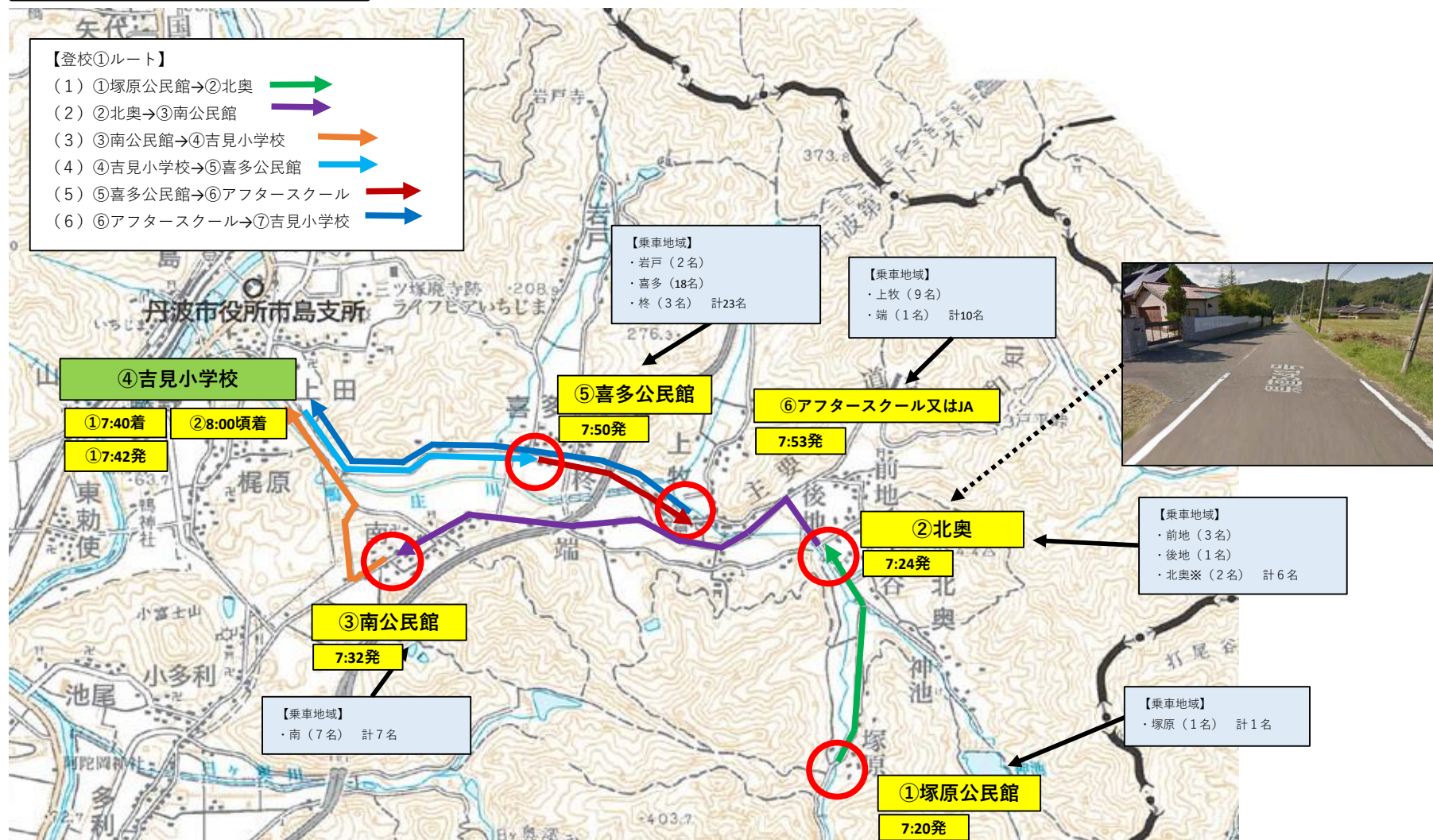
※他に R5 新入生で北奥内に2名の児童が在籍予定（住民基本台帳による）

(2) 下校ルート

	バス停
1	喜多公民館
2	アフタースクール又は JA
3	塚原公民館
4	北奥
5	南公民館

※アフタースクールが鴨庄地域にも設置された場合は、2便に分けて送迎を行う可能性がある（その場合は経路変更が生じる）。

スクールバスルート（登校）



スクールバス ルート（下校）

【ルート】

- (1) ①吉見小学校→②喜多公民館
- (2) ②喜多公民館→③アフタースクール
- (3) ③アフタースクール→④塚原公民館
- (4) ④塚原公民館→⑤北奥
- (5) ⑤北奥→⑥南公民館

【留意事項】

アフタースクールを鴨庄に設置した場合は、バス定員を超過する可能性があり、再度ルートを検討する必要がある。



吉見小・鴨庄小の統合後におけるアフタースクールに係る方針(案)

健康福祉部 子育て支援課

□ 丹波市内のアフタースクールの状況

- ・ 丹波市の全ての小学校区において、1小学校区につき1アフタースクールを設置し、学校周辺の施設で実施している。

※他地域のこれまでの状況（H26以降）

（青垣地域） 青垣小学校への統合前から4小学校区で1アフタースクールを設置していたが、平成29年4月に4小学校の統合が決定していたことから現状のとおりとした。

（春日地域） 5小学校区で2アフタースクールを設置していたが、平成27年度から各小学校区にアフタースクールを設置した。

□ アフタースクールの設置

- ・ 吉見小、鴨庄小の統合後におけるアフタースクールは校区内に1か所設置する。

□ アフタースクールの実施場所

- ・ 吉見小、鴨庄小の統合後におけるアフタースクールの実施場所は、子ども達同士の関係性や小学校とアフタースクールの連携や情報共有、安心安全なアフタースクール運営を第一に考え、学校に隣接している吉見アフタースクールで実施する。

□ 令和4年度の児童数とアフタースクール利用登録者の割合 ※太枠囲みは令和5年度の在校児童

《児童数》

R5:149人 R6:150人【最多】

R4.3.31住民基本台帳データより

学校名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計 (小1～小6)
吉見小学校	10	17	17	13	16	16	11	16	20	20	18	18	103
鴨庄小学校	7	7	4	9	11	11	4	7	11	7	8	3	40
計(吉見・鴨庄)	17	24	21	22	27	27	15	23	31	27	26	21	143
※参考													
三輪小学校	9	13	8	12	10	20	12	10	25	11	11	15	84
計(吉見・鴨庄・三輪)	26	37	29	34	37	47	27	33	56	38	37	36	227

《アフタースクール登録児童数》

- ・ クラス(支援単位)の児童数は、おおむね40人以下としている。
- ・ クラス(支援単位)の数は、通常利用人数に長期休業中利用人数の1/2を加えた人数により決定している。
- ・ 指導員の数は、クラスごとに2人以上とし、おおむね30人を超える場合は1人を加えて配置している。

R4.4.1

アフタースクール名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計 (小1～小6)	指導員数	クラス数 (支援単位)
吉見アフタースクール (登録割合)							6 0.55	10 0.63	8 0.40	11 0.55	10 0.56	0 0.00	45 0.44	4	2
鴨庄アフタースクール (登録割合)							4 1.00	5 0.71	5 0.45	6 0.86	3 0.38	0 0.00	23 0.58	2	1
計(吉見・鴨庄)	0	0	0	0	0	0	10	15	13	17	13	0	68		
※参考															
美和アフタースクール (登録割合)							8 0.67	9 0.90	18 0.72	5 0.45	4 0.36	1 0.07	45 0.54	4	2
計(吉見・鴨庄・美和)	0	0	0	0	0	0	18	24	31	22	17	1	113		



□ 令和5年度のアフタースクール利用登録予定者見込み

⇒⇒ 5歳児から小学5年生までが学校に在籍する年度 (児童数×学年登録割合で算出 例: 吉見小1年16人×小1登録割合0.55≒9人)

アフタースクール名						小1	小2	小3	小4	小5	小6		合計	指導員数	クラス数 (支援単位)
吉見アフタースクール						9	7	6	11	11	0		44	6	2
鴨庄アフタースクール						11	3	3	9	3	0		29		
計(吉見・鴨庄)						20	10	9	20	14	0		73		
※参考															
美和アフタースクール						13	11	7	11	4	1		47	4	2
計(吉見・鴨庄・美和)						33	21	16	31	18	1		120	12	4

- ・ 利用登録予定者の見込みが73人であるため、2クラス(36人・37人)となる。
- ・ 児童1人につき1.65㎡以上(設備基準)を確保するため、現保育室を改修する必要がある。
- ・ 現在の定員(55人)を変更する必要がある。(予定定員75～80人)
- ・ 指導員は各クラス3人を配置し、合計6人となる。(市の指導員配置基準)

□ 今後のスケジュール

令和4年6月 アフタースクール実施場所を決定
(1か所で実施する場合)
令和4年9月 条例改正・補正予算
令和4年11月 施設の改修工事
令和5年4月 吉見小、鴨庄小統合

小学校区別児童・生徒数の推移

【年齢別人口統計表 R4.3.31時点 市民課】

学校名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	就学前計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学校計	中1	中2	中3	中学校計
崇広小学校	58	63	50	76	64	70	381	68	78	64	68	67	80	425	65	82	70	217
新井小学校	14	25	22	17	19	20	117	13	15	19	13	14	20	94	18	14	19	51
柏原地域	72	88	72	93	83	90	498	81	93	83	81	81	100	519	83	96	89	268
中央小学校	33	35	37	30	28	33	196	48	40	40	40	48	43	259	39	34	38	111
東小学校	44	28	40	51	48	46	257	48	57	46	44	48	52	295	48	52	44	144
西小学校	14	14	11	11	9	17	76	15	21	17	25	17	33	128	21	16	29	66
南小学校	11	14	15	24	21	23	108	22	18	17	22	17	18	114	21	21	29	71
北小学校	13	20	18	16	20	13	100	23	20	23	20	34	31	151	26	33	40	99
氷上地域	115	111	121	132	126	132	737	156	156	143	151	164	177	947	155	156	180	491
青垣小学校	21	22	26	25	30	48	172	29	43	42	41	60	50	265	43	45	52	140
青垣地域	21	22	26	25	30	48	172	29	43	42	41	60	50	265	43	45	52	140
黒井小学校	24	27	21	33	26	23	154	27	37	26	37	32	28	187	26	22	26	74
春日部小学校	9	10	16	20	16	15	86	19	19	16	17	25	17	113	15	22	10	47
大路小学校	8	8	14	9	12	20	71	13	9	18	14	15	20	89	14	15	12	41
進修小学校	14	15	16	11	19	13	88	13	17	15	17	20	20	102	20	23	22	65
船城小学校	1	13	4	5	5	9	37	8	10	16	6	8	15	63	17	11	11	39
春日地域	56	73	71	78	78	80	436	80	92	91	91	100	100	554	92	93	81	266
上久下小学校	2	4	6	5	6	11	34	5	11	5	8	7	10	46	14	13	11	38
久下小学校	15	22	21	21	22	18	119	20	14	23	15	16	24	112	23	22	19	64
小川小学校	7	10	10	10	16	16	69	25	15	22	14	14	13	103	19	17	12	48
和田小学校	14	17	25	23	34	32	145	23	32	36	37	39	28	195	37	33	33	103
山南地域	38	53	62	59	78	77	367	73	72	86	74	76	75	456	93	85	75	253
竹田小学校	16	9	11	10	15	11	72	14	12	13	13	15	19	86	10	20	20	50
前山小学校	5	7	8	8	8	4	40	11	7	12	13	14	15	72	18	12	19	49
吉見小学校	10	17	17	13	16	16	89	11	16	20	20	18	18	103	13	14	10	37
鴨庄小学校	7	7	4	9	11	11	49	4	7	11	7	8	3	40	8	9	8	25
三輪小学校	9	13	8	12	10	20	72	12	10	25	11	11	15	84	8	13	15	36
市島地域	47	53	48	52	60	62	322	52	52	81	64	66	70	385	57	68	72	197
全地区	349	400	400	439	455	489	2,532	471	508	526	502	547	572	3,126	523	543	549	1,615



10人未満の年齢

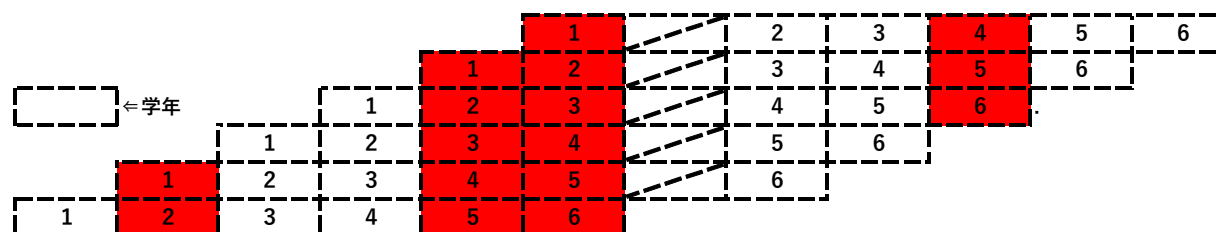
10人未満かつ複式学級又は複式学級の可能性がある年齢

吉見・鴨庄・三輪 児童数及び学級数の推移

【吉見・鴨庄・三輪】

R4.3.31住民基本台帳データより

学校名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
吉見小学校	10	17	17	13	16	16	89	11	16	20	20	18	18	103
鴨庄小学校	7	7	4	9	11	11	49	4	7	11	7	8	3	40
三輪小学校	9	13	8	12	10	20	72	12	10	25	11	11	15	84
合計（吉見・鴨庄）	17	24	21	22	27	27	138	15	23	31	27	26	21	143
合計（吉見・鴨庄・三輪）	26	37	29	34	37	47	210	27	33	56	38	37	36	227



年度	学級数
R5	8
R6	9
R7	9
R8	8
R9	9
R10	9
R11	8 以上
R12	7 以上

: 10人未満の年齢
 : 10人未満かつ複式学級又は複式学級の可能性がある年齢

: 36人以上になり、2学級になる年代
 : 36人以上になるが、学級人数引き下げの段階的措置により、当該年度では40人学級が適用される年代

【三輪小学校統合時期の検討に係るこれまでの経緯】

- ・現状の吉見小の改修を最小限で三輪小学校の統合を実施する場合、7クラスとなる**R8**を**最短**としていた。
- ⇒移動等により予定児童数が増加したため、大規模な増改築を行わない場合は、最短でR12以降でないとは統合するのは難しい。